| 学校番号 | 207 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書造形演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「墨心」　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | プリント等 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道の経験が無くても取り組めるよう、習熟度に合わせて課題設定します。積極的に取り組む姿勢が大切です。
・平仮名や楷書体・行書体・篆書体など様々な書体を体験し、用具用材を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
・年度末に作品展を行い、相互鑑賞の場を設けます。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
仮名や楷書体・行書体・篆書体等の歴史と技法を学び、用具用材の特徴を理解し、生活の中で書芸術を活かす資質と能力を育みます。
【思考力、判断力、表現力等】
基本的な作品制作の実体験を重ねることによって、書の伝統と文化を活かす思考や表現力を育成します。
【学びに向かう力、人間性等】
書道の幅広い制作活動を通して、より多くの書作品に興味・関心を持たせ生涯にわたり書を愛好する心情を育成します。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。<br>書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け表している。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 | 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。<br>書作品について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 写経に挑戦 | 写経に取り組み、集中力を高める。<br>最終的には裏打ちし、折り帳の形に装丁する。<br>・般若心経<br>・仮名半紙<br>・筆ペン | a:異体字など写経の特徴を理解し、用筆・運筆の技法を習得している。<br>b：写経の書道史的価値や美を理解・感受している。<br>c：丁寧に写経するとともに、装丁なども工夫しようとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| | 臨書の学習 | 臨書に挑戦<br>臨書してみようと思う古典を選び、書道経験（習熟度）に合わせてボリュームを考える。<br>少字→多字<br>半紙→半切（全紙） | a:各古典の成立過程や字形・用筆の特徴を理解し、その技法を習得している。<br>b:古典作品に関心を持ち、その美を味わおうとしている。<br>c: 数多く臨書し、意欲的に表現を工夫しようとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| | 実用的な書の学習 | 硬筆を用いた書類の書き方や、小筆（筆ペン）による署名の仕方などを学習する。<br>＊１年に渡り随時実施 | a:字形の整え方を理解し、基礎的・基本的な字形・書式の技法を身に付けている。<br>b:技能の習得に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。<br>c:硬筆や小筆（筆ペン）に親しみ、積極的に取り組んでいる。 | プリント<br>完成度 | プリント | プリント<br>進捗状況<br>観察 |
| 2学期 | 工芸的な書の学習 | 刻字、ロウ書、団扇書など、素材を変えて書表現の幅を広げることに取り組む。 | a:書体の用筆方法を理解し、表現を工夫している。素材による表現効果を理解し、表現する方法を身に付けている。<br>b:紙以外の素材で表現することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。<br>c:工芸的な書に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 座右の銘 | 自室に飾ることを前提に、自身を励ます言葉を作品にする。<br>・2～4字<br>・半紙か色紙大 | a：表現の狙いを定め、イメージを作品化するため、既習の知識・技能を活かしている<br>b:作品を互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。<br>c：書作品に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| 3学期 | 表装 | 表装の方法を学ぶ。<br>・作品選択<br>・裏打ち<br>・パネル張り(額装) | a:裏打ちの技法と効果を理解し、自身の作品に活かしている。<br>b:製作意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫している。<br>c:主体的に表装を通しての表現活動に取り組んでいる。 | プリント<br>表装作品 | プリント | プリント<br>振り返り<br>作品<br>観察 |
| | 作品鑑賞 | 校内作品展で相互の作品を鑑賞し批評する。 | a：既習分野を再認識し、感想・批評を言語化することで知識技能の深化を図る。<br>b ：互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図や効果の理解を深めている。<br>c:他者の作品にも関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。 | 鑑賞メモ | 鑑賞メモ | 鑑賞メモ<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度